

0721, 2022

経済産業省フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金キックオフミーティング

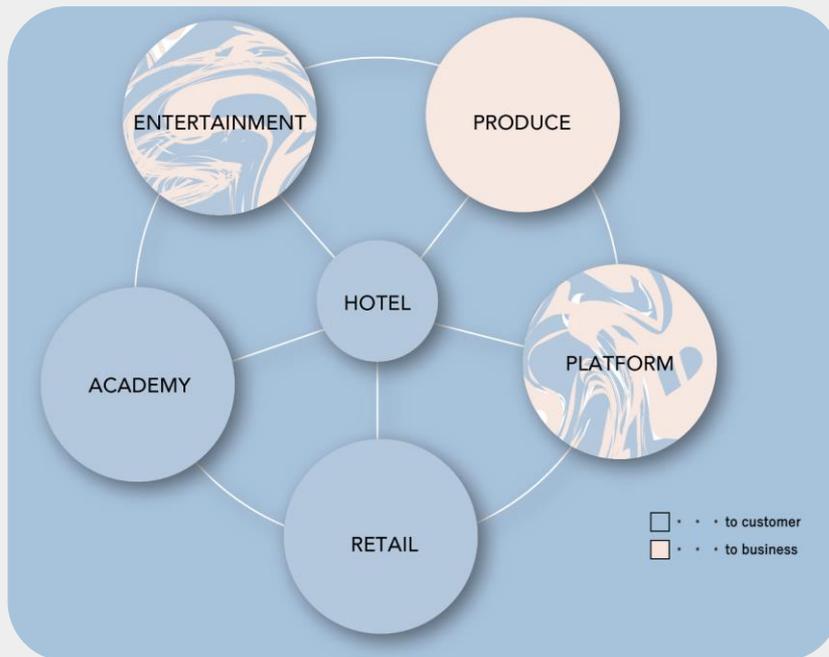
事業説明

No. 10 産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートの
ニーズ検証及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験

株式会社水星

「L&Gグローバルビジネス」から「水星」に社名を変更しました。

株式会社 水星は、『人生の乾いた旅に潤いを』をビジョンに、
『ライフスタイルと観光における多様な選択肢をつくる』ことをミッションに掲げ、
膠着したシーンに新たな選択肢が生まれるきっかけとなるサービスやプロダクトを生み出す会社です。



テーマ

産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートの ニーズ検証及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験

背景

【需要】

時代の変化

- 産～育児において“**他者の支援を頼れない**”女性が増加
- 女性の出産による**キャリアの停止は依然多数**
- パートナーとの知識量や温度感のギャップから**パートナーとの関係性の悪化へと繋がりがやすい**

【供給へのアクセス】

供給の不足

- 産後ケア事業が努力義務化されたが、**導入自治体は未だ少数**
- さらに、家族の支援が得られない、経済的援助を必要とする住民の入所を優先するなど対象が絞られ**宿泊型産後ケア施設の利用率はわずか0.88%**

【供給の内容】

必要な支援・ 安全の両立不足

- 行政事業委託型**は、対象が限定的かつ産婦のメンタルケアなど**ソフト面の支援が弱い**
- 民間型**は、高額な費用に加え、民間資格取得者中心の運営など**安全面の課題が存在**

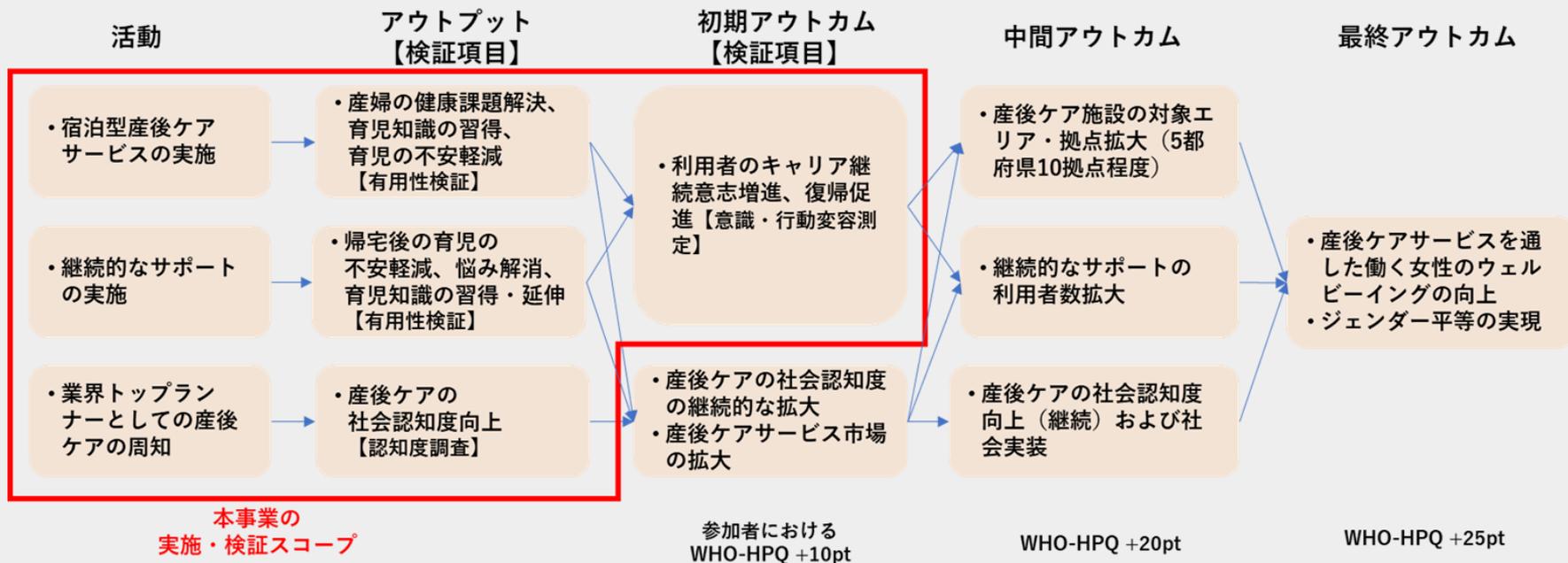
目的

“**専門的知識に基づいた宿泊型産後ケアサービス**”及びその後の**継続的なサポート**の提供が、働く女性の健康課題を解決し、ウェルビーイングの向上、キャリアとライフイベントの両立の実現に有効であることを検証

事業目標（中長期を含むロジックモデル）

目標

- ①女性のQOL向上における宿泊型産後ケアサービス及びその後の継続的なサポートの有用性検証
- ②業界トップランナーとしての産後ケアの社会認知度向上



実施内容のポイント・独自性

- 宿泊型産後ケアサービスは、**行政委託型施設と民間型施設の双方の課題を克服**
- 宿泊型産後ケアサービスに加え、**体制・情報の連続性を持った継続的なサポートを実施**

宿泊型産後ケアサービス (HOTEL CAFUNE)

従来の宿泊型産後ケアサービスの課題を克服した
体制・サービスにより運営

| 施設タイプ | 従来の一般的な課題 | HOTEL CAFUNEの取組 |
|-------|--|--|
| 行政委託型 | 対象者が限定的 産後女性への負担大 ● 母子同室 ● パートナーの入所不可 など | 誰でも利用可能 産後女性のメンタルや生活優先、 ソフト面のサービスも充実 ● 託児サービスあり ● パートナーも滞在 & 育児指導 受講が可能 |
| 民間型 | 民間資格取得者中心の運営 | 自社スタッフの助産師・保育士等 国家資格取得者が対応 |

従来

HOTEL CAFUNE滞在中に装着した知識で
育児を自力で開始

【新規開発】継続的なサポート

SNS等を用いて継続的に育児や生活の
悩みをサポート

- **HOTEL CAFUNE滞在中と同じ担当助産師**
等専門的知識を有するスタッフが対応
- 希望に応じて**オンライン面談**も実施

実施事項と計画値・成果指標/測定

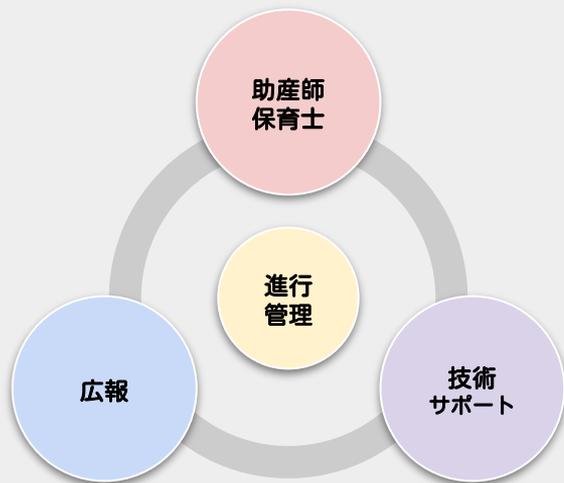
- 実施事項1は、宿泊型産後ケアサービスの利用者、またそのうち継続的なサポートモニター利用者へのアンケート調査で成果を測定。
- 実施事項2は、オンラインでのアンケート調査及びデスクトップ調査、当該取組の広報活動の結果から成果を測定。

| 実施事項(大項目) | 実施事項(小項目) | 計画値 | 成果指標 |
|--|---|--|---|
| 1. 女性のQOL向上における宿泊型産後ケアサービス及び継続的なサポートの有用性検証 | 1.1 宿泊型産後ケアサービスおよびその後の継続的なサポートの有用性調査 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的なサポートモニター利用者数 目標50名 ・ アンケート回収数 目標30名 | 【産婦の状態に関する調査】 ①EPDS ②ボンディング 【サービスへの満足度の調査】 ③ 宿泊型産後ケアサービス及び継続的なサポートに対する満足度 【社会復帰・キャリアに関する調査】 ④WHO Health and Work Performance Questionnaire ⑤メンタルヘルスの向上(短期)や女性の社会復帰(中長期)に関する指標 ⑥キャリアに対する意識・行動変容に関する指標 |
| | 1.2 顧客満足度調査(NPS)の実施による満足度測定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ NPSスコア9.2以上 (設問及び具体的な数値は今後設定) | |
| 2. 業界トップランナーとしての産後ケアの社会認知度向上 | 2.1 市場ニーズ調査 *在日外国人向け調査含 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用意向度5pt増 (数値は今後設定、サンプル数は300~500程度を想定) | ○関心・利用意向度 |
| | 2.2 検索キーワードモニタリング | <ul style="list-style-type: none"> ・ 検索ボリューム150%増 (キーワード及び具体的な数値は今後設定) | ○検索ボリューム |
| | 2.3 メディア露出・SNS発信による認知拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ・ インプレッション数100万件 (具体的な数値は今後設定) | ○インプレッション数 |

実施体制・スケジュール

- 実施体制は、**宿泊型産後ケアサービス及び継続的なサポートを担う現場の担当者から広報の担当者**など、本事業に必要な人員で構成。
- スケジュールは、実施事項1は逐次調査するのに対し、実施事項2については**広報実施前及び実施後で測定し比較**することを想定。

実施体制



スケジュール

| 実施事項 | | 2022年 | | | | | 2023年 | | | |
|--|--------------------------------------|----------|----|------------|-----|-------|-------|-------|----|----|
| 大項目 | 小項目 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 1. 女性のQOL向上における宿泊型産後ケアサービス及びその後の継続的なサポートの有用性検証 | 1.1 宿泊型産後ケアサービスおよびその後の継続的なサポートの有用性調査 | サポート事業開発 | | 有用性検証 | | | | | | |
| | 1.2 顧客満足度調査(NPS)の実施による満足度測定 | 満足度調査 | | | | | | | | |
| 2. 業界トップランナーとしての産後ケアの社会認知度向上 | 2.1 市場ニーズ調査 *在日外国人向け調査含 | 調査方法検討 | | 第1回調査 | | | | 第2回調査 | | |
| | 2.2 検索キーワードモニタリング | | | 第1回調査 | | 第2回調査 | | 第3回調査 | | |
| | 2.3 メディア露出・SNS発信による認知拡大 | 認知拡大方法検討 | | SNS発信等広報実施 | | | | | | |